教員名	滝澤　公子　(TAKIZAWA Kimiko)
所　属	人間文化研究科特設遺伝カウンセリング
学　位	歯学博士
職　名	講師
URL／E-mail	life-kt@cc.ocha.ac.jp

◆主要業績　　総数（3）件

・共編著：遺伝カウンセラー　その役割と資格取得に向けて、151 頁、真興交易医書出版部、2006
・共著：遺伝カウンセリングと遺伝カウンセラーの養成、バイオニクス（12）36－41、オーム社、2005
・分担翻訳：分子生物学大百科事典、太田次郎監訳、朝倉書店、担当 U-Z、2006

◆研究内容

・遺伝学及び遺伝子研究に対する意識態度の形成：一般社会の遺伝子研究の許容と関心について、独、韓国の研究者と調査研究を行っている。2005 年度は韓国におけるアンケート調査を実施し、データ解析を行っている。
・初等中等教育における遺伝学理解のための教材研究
：平成 17 年度日産学術助成、理科・環境教育プログラムの採択を受け、初等教育における遺伝学理解のための教材研究を実施。
・日本における遺伝カウンセラー養成のためのカリキュラム研究：さまざまな背景を持つ学生が、遺伝学の基礎領域を効率よく修得するための、教育内容の精査・キーワードの設定等の研究に参画。また先端医療の理解のための科目、セミナーの内容設定、学生の教育や一般啓発のためのシンポジウムのあり方などを探った。

◆教育内容

大学院人間文化研究科ライフサイエンス専攻で、基礎人類遺伝学、細胞遺伝学、遺伝学実習を担当

◆Reseach Pursuits

・Investigation of attitude for human genetics
・Development of teaching materials for understanding of genetics on elementary and secondary education
・Development of educational program of genetic counseling course in Japan

◆Educational Pursuits

Basic Human Genetics,
Cytogenetics,
Laboratory course of Genetics

◆共同研究例

・Investigation of attitude for human genetics

◆将来の研究計画・研究の展望

・一般社会の遺伝子研究・治療の許容と関心について、調査研究をすすめ、東アジアにおける遺伝カウンセリング構築のために、欧米との比較などのデータ解析を継続する。
・初等中等教育において、遺伝を理解することにつながる教材研究を継続し、教養としてゲノム医学や遺伝子研究に関心と理解を持つ生徒・学生の育成をはかる。

◆受験生等へのメッセージ

遺伝子研究やゲノム医学の発達に伴って、ヒトの遺伝情報の取り扱いにとくに配慮が必要となっています。高度な専門知識をわかりやすく解説し、心理社会的支援を行う必要性からも、遺伝カウンセリングの重要性が大きくクローズアップされています。日本にまだ新しいこの分野を切り拓こうとする人たちに期待しています。